

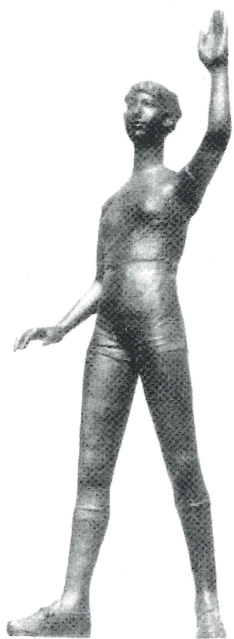
期 日 平成二十四年六月一日(金)  
 集合場所 第一ホテル両国 五F 北斎の間  
 最寄駅 JR線 両国駅 西口下車 徒歩七分  
 開 会 午前十一時〜午後二時半まで  
 会 費 七千円也(年度会費の千円を含む)  
 切 日 平成二十四年五月十五日  
 ※会費の振込を以って出席通知に代えさせていただきます。  
 ※総会に欠席の場合恐れ入りますが年会費のみお振込下さい。  
 当 日 携帯 ○九〇―七二四一―九九五一 水野

記  
 去年は、大震災に見舞われ、大きな悲しみに包まれました。3月29日に予定していた東京同窓会総会は中止させて頂き、大変ご迷惑をおかけしました。  
 さて、今年の総会は、昨年お招きできなかった、三遊亭鬼丸さんの落語を楽しんで頂きたいと思ひます。  
 場所は両国の駅に近い、第一ホテルです。スカイツリーを眺めながらおいしいお料理と、鬼丸師匠の落語で「笑門来福」大いに若返って頂ければと思ひます。  
 どうぞお誘い合せて、ご参加下さいますよう心よりお待ち申し上げます。



「こあいさつ」

高18回卒 水野 美代子



# 呼 応

第27号

発行  
 上田染谷丘高校  
 東京同窓会事務局  
 〒354-0021  
 埼玉県富士見市鶴馬  
 1-13-25  
 Tel049-253-6863

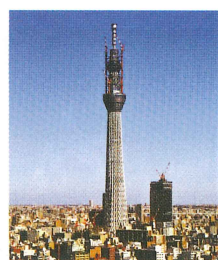


## 三遊亭鬼丸 プロフィール

昭和47年8月31日生まれ  
 平成2年3月 上田染谷丘高校43回卒業  
 平成9年1月 三代目三遊亭圓歌に入門  
 前座名 歌ご  
 同年5月5日 上野鈴本演芸場にて初高座  
 (東京の落語界では最後の前座内弟子修行を経験)  
 平成12年6月 二つ目に昇進 きん歌に改名  
 同年9月 地元上田にて600人集め「二つ目昇進披露興行」を行う  
 同年10月 内幸町ホールにて「名人会」をもじった「タロ人会」という独演会を開始  
 平成15年2月 日本橋若手演芸大賞受賞  
 同年10月 第14回北とびあ若手落語選手権特別奨励賞受賞  
 平成16年5月 浦和にて「浦和タロ人会」開始  
 平成22年8月28日 真打昇進披露

演目「猿後家」他一席  
 「日頃の疲れを落語で笑って吹き飛ばして下さい」

内幸町タロ人会 19時開演  
 5/25日(金)、8/24日(金)、11/9日(金)  
 浦和タロ人会  
 5/4(金・祝) 昼  
 平成23年4月3日(月)からスタート  
 ラジオ出演FM79.5 Nack5  
 GOGOMONZ(ゴゴモンズ)  
 毎週月曜〜木曜  
 13:00〜16:55  
 5/9(水) 笑和寄席(鶴瀬)  
 ☎048-863-0770



スカイツリー



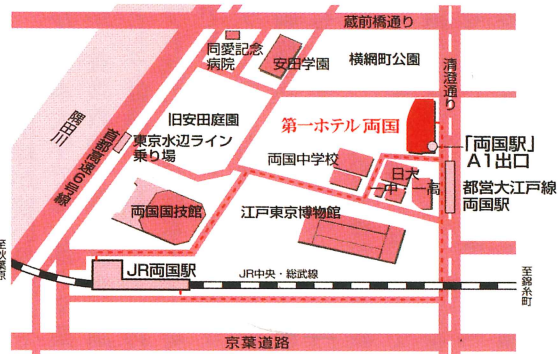
第一ホテル両国



両国国技館



江戸東京博物館



所在地 〒130-0015 東京都墨田区横綱1-6-1  
 Tel 03-5611-5211 (代)

- [交通のごあんない]  
 ●JR東京駅より秋葉原駅乗りかえて 総武線「両国」駅西口下車7分  
 ●都営地下鉄大江戸線「両国」駅A1出口直結  
 ●車/東京駅・上野駅・東京シティエアターミナルより15分

### 上田高女・染谷丘高校東京同窓会 平成23年度会計報告

(単位:円)

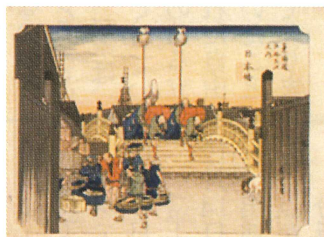
取 入			支 出		
前年度より繰越		387,828	渉外費	東京同窓連等	67,000
年会費	262名	276,000	通信費	切手等	84,840
補助費	支部費	20,000	印刷費	呼応26号等	78,120
受取利息	ゆうちょ銀行	52	事務費	封筒等	32,979
			会議費	役員会	26,000
			交通費	役員会	27,870
			支払手数料	振込手数料	27,880
			次年度へ繰越		339,192
計		683,880	計		683,880

平成24年1月31日

上記の通りご報告申し上げます

会長 水野 美代子  
 会計 小林 和子 小胎 京子  
 監査の結果相違ありません 会計監査 北沢 清美

### 江戸東京博物館



2012年5月26日(土)〜7月16日(月・祝)

特別展  
 日本橋〜描かれたランドマークの400年

平成24年  
 3月28日 役員会(会計監査)  
 2月4日 長野県同窓連新年懇親会  
 12月15日 役員会  
 10月29日 本校同窓会 総会  
 10月7日 上田会参加  
 7月2日 長野県同窓連総会  
 5月29日 役員会、東信同窓連総会  
 3月29日 東京同窓会総会 中止  
 平成23年  
 3月22日 役員会

### 〔年間活動報告〕

おもっままに

14回卒 土屋 邦子

「村の敬老会に『仕舞』を是非!!」との話があったのは、私が小学校一年生の時であった。父の兄で本家の伯父は、早速、姉(高4卒鷹野美津子)と私に稽古を付けてくれた。初めの頃は、ほめてくれたりで優しかったが、敬老会が近づくと「大きな声で腹から声を出すように」とか「目は一点を見ずやたらに動かさない!!」と段々真面目な顔で厳しく教え始めた。私は、扇を手にしたら甘えは許されないので、子供ながらに悟ったように思う。

稽古場からは千曲川の清流が良く見えた。川の向う岸は「海野宿」、その向うに広がる浅間山・高峰山・烏帽子岳・太郎山等の山々が、夏には川面から吹く涼風は、毎年東京から泊まりがけで稽古に来られる方々には、クーラーの無かつたあの時代には、何よりの御馳走であったようだ。来客の多い日は必ず給仕を頼まれた。或る日、いつものように伯母と昼食の仕度を台所ですしていた時のことである。「こちらから宜しいでしょうか」と、白足袋に扇を手にしたひ弱そうな青年がすまなそうな顔をして立っていた。「どうぞ」と伯母に言われると、彼は、私の後をすり抜けて居間の入口に立った。青年は腰をグツグツと低くして、扇を構え、厳格な顔になった。次の瞬間いきなり、家中に響き渡るような声で「謡」をうたい始めた。そして私と伯母との間を大真面目な顔で、謡いながらすり足で通り抜け、奥座敷の方へとおもむろに進んで行った。私は、ヒョコなのはどうし

てあんな大声が出るのかなアととても不思議な事に出会わした思いで、ビクビクしてしまつた。伯母は良い機会だと思つたのでしよう、私の手を引いて急いで奥座敷まで連れて行つてくれた。私には演じている内容等は全く理解出来なかつたが、青年とその父親と伯父の三人の真剣な眼差し、言葉使い、一挙手一投足に至るまで、張りつめた稽古風景と、あの時の研ぎ澄まされた座敷の空間が、未だに記憶に新しい。この頃の出会いと感動は私の人生に大きな影響を与えているように思える。



三人の子供もようやく手がからなくなり始めた頃、主人から「好きな能の稽古を又始めてみたらどうか」と言われた。主人の母はすかさず「ママそうさせてもらいなさい。応援するよ」と勧めてくれた。

喜んで始めた「謡」であつたが、難解な記号や言葉の前に、途方に暮れることもしばしばだつた。自分の心の弱さとの格闘の連続で、何とか現在に至つている。今までに「能」を三番演じさせていただくことが出来た。演目は「花筐(はながたみ)」、「杜若(かきつばた)」、「巻絹(まきぎぬ)」である。いずれの時もそうであつたが、能装束を身に付け、鏡の前に対峙し、最後に能面を付けていた。出番を待つ間に感ずることだ。能面の持つ力の不思議であつた。

わ)小鼓(こつづみ)太鼓(たいこ)がその日の演目の世界を創造して行く。私は、能面から観えるたつた一点の視界だからこそかもしれないがシテ(主役)の心の奥深くにまで、自分が誘われるように思えたのである。 全てのものに生命があるとの思想を根底に魂という表現を持って繰り広げられる「能の心」に興味を尽きない。今年も四月二十一日に宝生能楽堂において舞囃(まいばやし)を舞わせていただきませす。多くの方々のお陰で現在まで来れましたことに感謝しつつ、一日一日を大事にしながら当日を迎えたいと思つています。



後輩の皆様とともに「学び合い」の日々

18回卒 門川 由紀江

18歳で母校を卒業してから約半世紀の間、千葉に拠点を置いて生活してきましたが、縁があつて4年前から松本で過ごす時間をもっています。再び信州で、山から吹き降る秋風の匂いや道端の春草の息吹に触れる度に、何物にも代えがたく大きな喜びになつていきます。文字通り『故郷』の良さです。 母校の校歌には「いざや学びて

遊ばまし、老いて悔いなき……」と詠われていますが、高校時代はあまり学びませんでした。今更ですが、当時の先生方にはお詫びを申し述べたい気持ちで一杯です。 今となつては両親に問うて確認できませんが、慈しんで育てもらう過程で、折に触れてそれとなく「これからは女も自立して生きる時代」と、摺り込まれてきたのではないかと思つています。その潜在意識が前面に出て今日まで職業を継続し、松本では少人数ですが後輩の皆様と巡り合つて「学び合い」をしております。 母校卒業時には単純に保健・医療・看護等の分野で社会的自立ができればと考え、とりあえず看護師養成学校に入学しました。その後保健師・養護教諭機関等を経て、保健師活動で職業生活の第一歩を踏み出しました。そして、保健師・看護師の養成及び養護教諭の養成に携わること20年余りの後に、松本大学人間健康学部へ赴任しました。松本大学には、母校の後輩が在籍している、それを知った時には驚きとともに懐かしさの中に嬉しさが込み上げました。 教員採用枠が狭い長野県ですが、松本大学では一部の卒業生が、養護教諭や保健体育の講師として就職しております。母校ソフト部の監督が松本大学出身者である関係から、松本大学女子ソフト部との連携も図られ、過日両校合同練習の応援に行く機会もありました。更に、私の専門領域では、母校の後輩が養護教諭1種免許を取得し既に県内で活躍を始めています。少しPRをさせていただきますと、松本大学は、長野県内唯一の4年制大学養護教諭1種免許取得機関で、養護教

諭免許取得のための看護職者の編入学も可能です。 これまでの4年間で接してきた後輩の皆様方は「染谷の伝統」を確実に引き継いでおり、常に明るく誠実な言動を貫き、周囲の信頼を得ています。身びいきは十分に承知しておりますが、それを差し引いても余りあるものを身に付けています。 今思い起こせば、母校は先生方、友人、先輩の皆様との人的環境はもちろん、教材や掲示物、校舎の床・壁、廊下の空気まで「清き心や真実を追及する強さを」培つてくれていたように思われます。そして、その伝統を今日まで継続してくださっている現教職員・現生徒の皆様様に敬服せずにはいられません。 また、母の生存時、3人兄弟の中で唯一一人県外に住む私に、母は『あの跳ね返り』は、家を追い出されて実家に戻るかも知れないから、この母屋は壊さないように!と厳命が出ていたとのこと、実家を継いでいる兄一家は、今でも母屋を維持してくれています。いつでも戻れる家のある立場が、やりたいようにやれた自由の身を保証してくれていたことに、今頃になつて気付いておりま



後輩の松本大学卒業時

母校と友人、生家と家族に守られている身に感謝しつつ、心身の健康が維持できれば、今少しの間保健・医療関連の従事者の養成に、関わっていくつもりです。(平成24年4月・松本大学非常勤講師・横浜創英大学) 中澤きみ子スケジュール 6月24日(日) 「弾き比べコンサート」妙高高原 7月6日(金) ニッポン・シンフォニーコンサートNo.20東京文芸会館大ホール 7月14日(土) 27日(金) 第二回国際音楽祭2012 8月19日(土) NAGANO 半田淳子スケジュール 8月1日~3日 軽井沢夏季合宿 講座「琵琶弾き語りの魅力」をさぐる 9月1日~6日 スイス・バーゼルにて「パーゼルシンフォニー」タと共演 11月3日 埴科郡坂城町にて「平家物語」の演奏とお話 12月14日 放送大学テレビ番組出演/脳化学・情報学の観点から、伝統音楽の響きを分析する。

